

N8154-147/148/152/155/156/157
増設ドライブケース搭載時のファームウェア個別適用手順

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

※ 本書の目的) 本書は対象装置(以下、サーバー)に N8154-147/148/152/155/156/157 増設ドライブケース を搭載する際に、最低限必要なファームウェアなどの適用方法を示します。

※ 対象) 本書は以下の a),b)の条件を満たす場合を対象とします。 下記条件を 1 つでも満たさない場合 は、本書の手順を適用しないでください。

- a) 対象サーバ型番に該当する(本ページ下部の対象サーバ型番参照)
- b) 対象の増設ドライブケースを追加搭載する(本ページ下部の対象増設ドライブケース参照)

対象サーバ型番：

Express5800/R120i-1M：N8100-2916Y, N8100-2917Y, N8100-2918Y

Express5800/R120i-2M：N8100-2919Y, N8100-2920Y, N8100-2921Y

対象増設ドライブケース：

N8154-147/148/152/155/156/157

1 章. 本書の対象サーバ、対象製品について

以下の a)~c)の条件が当てはまる場合にのみファームウェアの更新が必要となります。

- a) 下記対象サーバ型番に該当する
- b) 下記対象の増設ドライブケースを追加搭載する
- c) 現在適用済みの Starter Pack のバージョンが S8.10-010.04 以前である

対象サーバ型番：

Express5800/R120i-1M：N8100-2916Y,N8100-2917Y,N8100-2918Y

Express5800/R120i-2M：N8100-2919Y,N8100-2920Y,N8100-2921Y

対象の増設ドライブケース：

N8154-147/148/152/155/156/157

2 章. 必要最低限のファームウェア更新について

増設ドライブページの動作に最低限必要なファームウェアは以下の通りです。

■ サーバファームウェア

BIOS	: 1.64	(Starter Pack S8.10-010.05 を用いて適用)
SPS	: 04.04.04.202	(Starter Pack S8.10-010.05 を用いて適用)
IE	: 1.0.0.22	(Starter Pack S8.10-010.05 を用いて適用)
iLO5	: 2.72	(Starter Pack S8.10-010.05 を用いて適用)
iLO5 言語パック	: 2.72	(Starter Pack S8.10-010.05 を用いて適用)

■ RAID コントローラファームウェア

N8103-189/190/191/195/201	: 5.32	(Starter Pack S8.10-010.05 を用いて適用)
N8103-237/238 :		
Window Server の場合	: 03.01.17.056	* 1
VMware ESXi の場合	: 03.01.14.062	(Starter Pack S8.10-010.05 を用いて適用)
Red Hat Enterprise Linux の場合	: 03.01.17.056	* 1

* 1:下記 URL の内容をご確認いただき、ファームウェアをアップデートしてください。

アップデート手順は、同梱の手順書を参照してください。

<N8103-237/238 RAID コントローラ ファームウェアモジュール>

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110584>

なお、OS に Red Hat Enterprise Linux をご使用で、かつ内蔵 LTO ドライブ、デバイス増設ユニットとの接続をご利用の場合は、下記 SAS コントローラのドライバ適用も必須となります。

■ N8103-197 SAS コントローラ用ドライバ(Linux 用)

ダウンロード先: Linux ドライバ情報

<https://www.express.nec.co.jp/linux/supported-driver/index.html>

3 章. 必要な作業の概要

使用 OS と適用中の Starter Pack のバージョンから、それぞれ必要な作業は以下の通りとなります。

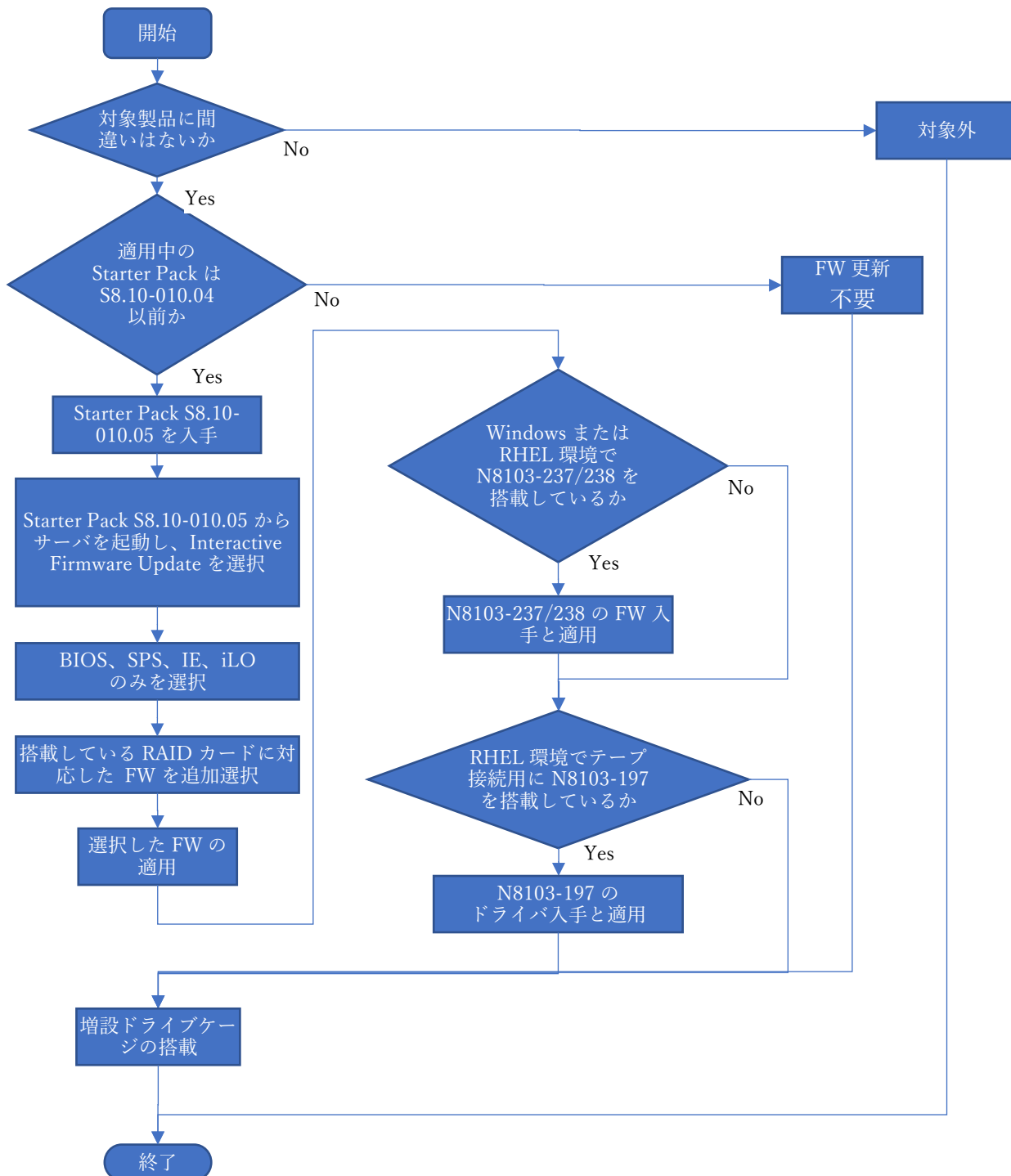
ご使用中の OS	現在ご使用中の Starter Pack バージョン	必要な作業
Windows Server 2016/2019	S8.10-009.01	1. Starter Pack S8.10-010.05 以降を用いて必要なファームウェアの個別適用 2. RAID コントローラのファームウェアの更新
	S8.10-010.01	
	S8.10-010.02	
	S8.10-010.03	
	S8.10-010.04	
	S8.10-010.05 以降	特に作業は必要ありません
Windows Server 2022	S8.10-010.01	1. Starter Pack S8.10-010.05 以降を用いて必要なファームウェアの個別適用 2. RAID コントローラのファームウェアの更新
	S8.10-010.02	
	S8.10-010.03	
	S8.10-010.04	
	S8.10-010.05 以降	特に作業は必要ありません

ご使用中の OS	現在ご使用中の Starter Pack バージョン	必要な作業
VMware ESXi 7.0 update2	S8.10-010.01	1. Starter Pack S8.10-010.05 以降を用いて必要なファームウェアの個別適用
	S8.10-010.02	
	S8.10-010.03	
	S8.10-010.04	
	S8.10-010.05 以降	非対応
VMware ESXi 7.0 update3	S8.10-010.01	1. Starter Pack S8.10-010.05 以降を用いて必要なファームウェアの個別適用
	S8.10-010.02	
	S8.10-010.03	
	S8.10-010.04	
	S8.10-010.05 以降	特に作業は必要ありません

ご使用中の OS	現在ご使用中の Starter Pack バージョン	必要な作業
Red Hat Enterprise Linux 8.3/8.4	不問	<ol style="list-style-type: none"> 1. Starter Pack S8.10-010.05 以降を用いて必要なファームウェアの個別適用 2. RAID コントローラのファームウェアの更新 3. テープデバイスをご使用の場合は必要なドライバの更新
Red Hat Enterprise Linux 8.5	S8.10-010.03 S8.10-010.04	<ol style="list-style-type: none"> 1. Starter Pack S8.10-010.05 以降を用いて必要なファームウェアの個別適用 2. RAID コントローラのファームウェアの更新 3. テープデバイスをご使用の場合は必要なドライバの更新
	S8.10-010.05 以降	特に作業は必要ありません
Red Hat Enterprise Linux 8.6	S8.10-010.05 以降	特に作業は必要ありません
Red Hat Enterprise Linux 8.7 以降	不問	特に作業は必要ありません

4 章. 作業フローチャート

以下のフローチャートにしたがって、必要なファームウェア・ドライバの入手と適用を行ってください。



5 章. 各種ファームウェア・ドライバの入手方法

各ファームウェア・ドライバ、およびその適用方法はそれぞれ下記より必要に応じて入手してください

■ Starter Pack (S8.10-010.05)

ダウンロード先：<https://www.support.nec.co.jp/>

(「製品から探す: ハードウェア」 → 「型番・モデル名から探す」 → 「修正情報・ダウンロード」
→ “Starter Pack” を検索)

■ N8103-237/238 RAID コントローラ用ファームウェア (03.01.17.056)

Window Server または Red Hat Enterprise Linux の場合

ダウンロード先：<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110584>

(<N8103-237/238 RAID コントローラ ファームウェアモジュール>)

■ N8103-197 SAS コントローラ用ドライバ(Linux 用)

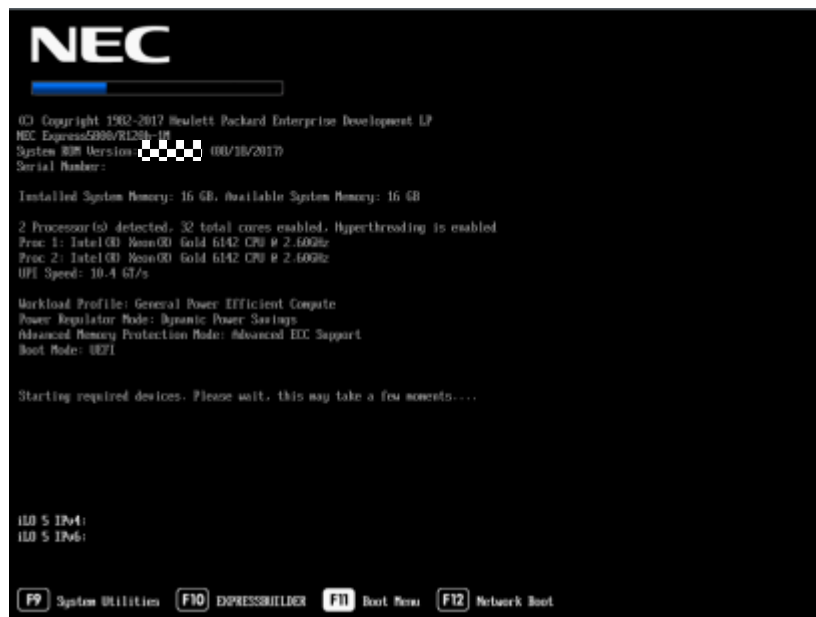
ダウンロード先：Linux ドライバ情報

<https://www.express.nec.co.jp/linux/supported-driver/index.html>

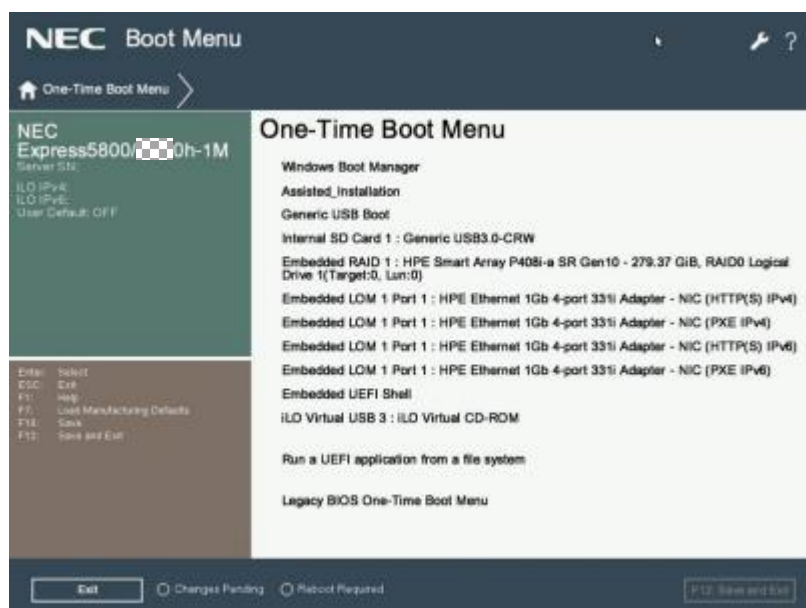
6章. 各種ファームウェア・ドライバの適用方法

■ Starter Pack S8.10-010.05 以降を用いて必要なファームウェアの更新

- (1) DVD ドライブに Starter Pack DVD をセットします。
- (2) サーバの電源を ON にして POST 中に <F11> キーを押します。

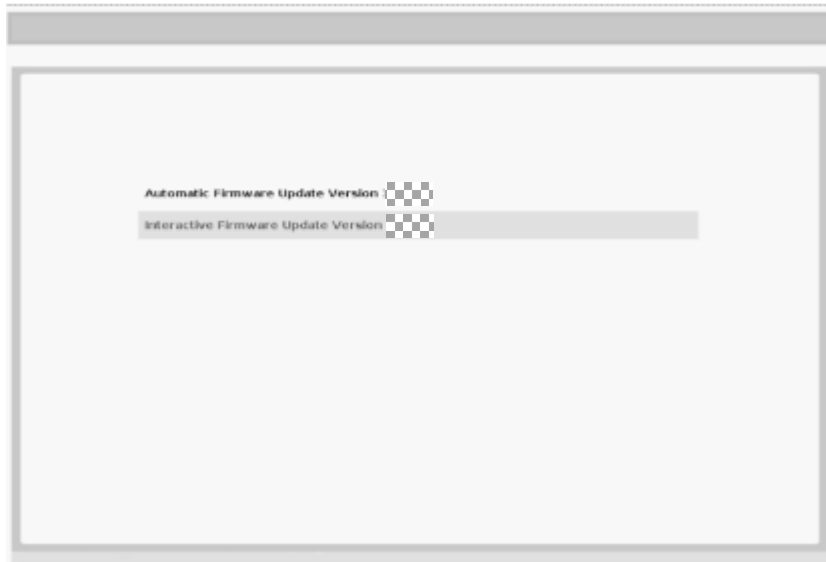


そのまま待つと、Boot Menu が表示されます。

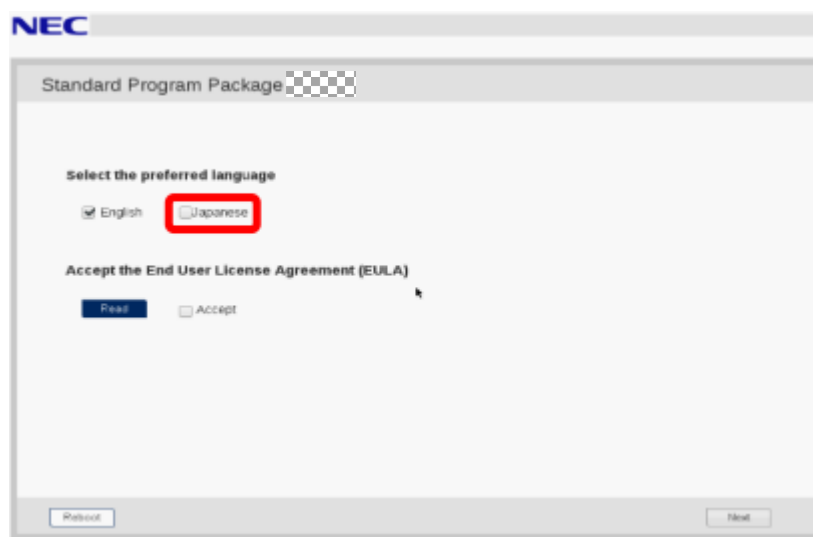


(環境によって表示が異なります)

- (3) One-Time Boot Menu 上で、手順(1)でセットした DVD ドライブを選択し、メニューを終了すると、サーバーが Starter Pack DVD から起動します。以下の画面が表示されますので、10 秒以内に<↓>キーを押して「Interactive Firmware Update」を選択して<Enter>キーを押します。



次の画面が表示されるまでしばらくお待ちください。



- (4) 「Select the preferred language」で「Japanese」を選択します。

- (5) 「エンドユーザー使用許諾契約書(EULA)への同意」で「開く」をクリックし、内容を確認して「承認」をクリックします。



- (6) 同意のチェックを確認し、画面右下の「次へ」をクリックします。



- (7) 「ファームウェアの更新」を選択します。



- (8) 「ローカルホストガイドアップデート」画面が表示され、「手順1 インベントリ」が自動的に始まります。

以下の「インベントリ完了」が表示されるまで、しばらくお待ちください。



画面左下の「次へ」をクリックします

(9) 「手順2 レビュー」が表示されます。




次のように、ファームウェアの一覧が表示されます。



(環境によって表示されるファームウェアが異なります)

(10) ファームウェアを選択します。ファームウェアのパッケージ名の左側に表示されているボタンをクリックすることで選択することができます。

 (“選択済み”の場合もあります)・・・適用する

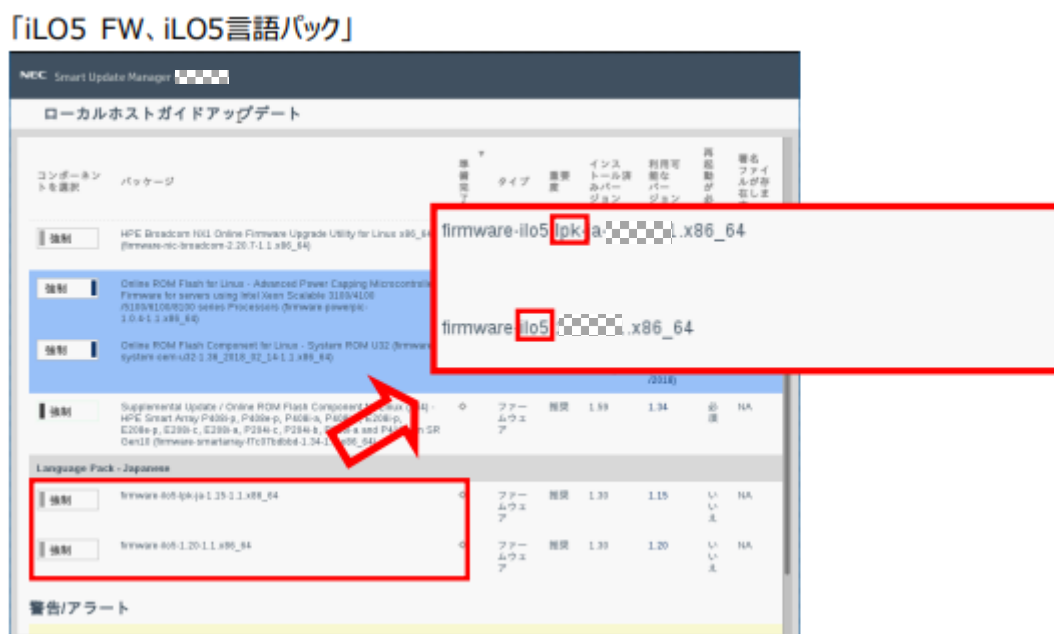
 (“選択”の場合もあります)・・・適用しない

以下のファームウェアのみを選択してください

- System ROM



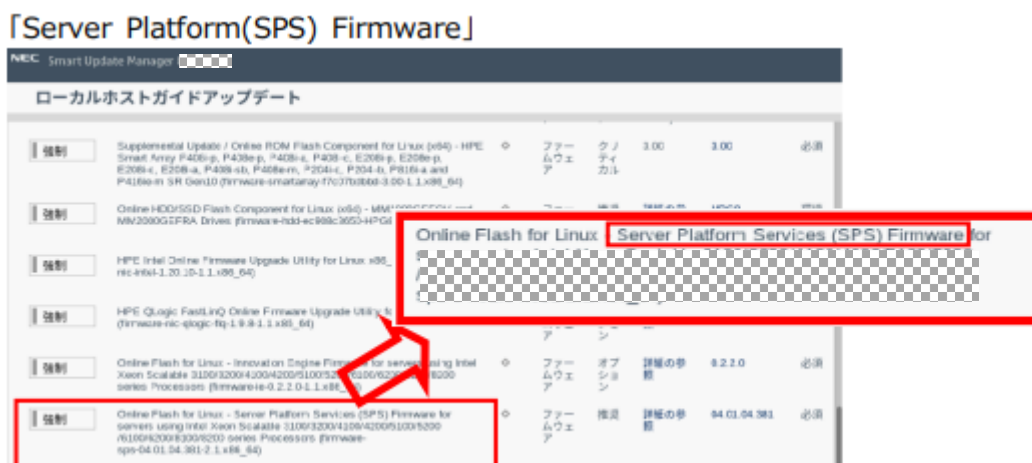
- iLO5 FW、iLO5 言語パック



- Innovation Engine Firmware



- Server Platform Service (SPS) Firmware



RAID コントローラを搭載している場合はここでさらに選択します。

■ N8103-189/190/191/195/201 を搭載している場合：

選択済み	Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE Smart Array P408i-p, P408e-p, P408i-a, E208i-p, E208e-p, E208i-a, P408i-b, P408e-b, P204i-c, P204-b, P816i-a and P416i-a SR Gen10 (firmware-smartarray-f7c07dbbd-5.32-2.1.x86_64)	■	ファームウェア	推奨	4.11	5.32	必須
------	--	---	---------	----	------	------	----

■ N8103-237/238 を搭載しており、OS に VMware ESXi を使用している場合：

選択済み	Firmware Package - HPE SR932i-p Gen10 Plus /SR416i-a Gen10 Plus Controllers (HPE_SR416_SR932_Gen10P_03.01.14.062)	■	ファームウェア	推奨	詳細の参照	03.01.14.062	必須
------	---	---	---------	----	-------	--------------	----

※OS に Window Server/Red Hat Enterprise Linux を使用している場合は選択しません

- (11) 必要に応じて画面をスクロールして、表示された全てのファームウェアを確認します。ファームウェアの選択が完了したら、ウィンドウ下部の「展開」をクリックします。「手順3 展開」が始まりますので、以下の「展開が完了しました」が表示されるまで、しばらくお待ちください。



- (12) Starter Pack DVD を DVD ドライブから取り出し、画面左下の「再起動」をクリックします。次の画面で「はい、再起動します」をクリックします。



※[はい、再起動します]を、クリックしても再起動しない場合は、右上の[終了]をクリックし、さらに右上の電源アイコンをクリックして再起動を選択してください。

■ **N8103-237/238 RAID コントローラの FW の適用**

OS に Windows Server または Red Hat Enterprise Linux を使用しており、RAID コントローラとして N8103-237/238 を搭載している場合は、RAID コントローラの FW 更新が必要です。5 章で入手した N8103-237/238 の FW を適用方法に従い適用してください。

■ **N8103-197 SAS コントローラのドライバの適用**

OS に Red Hat Enterprise Linux を使用しており、テープデバイス接続用の SAS コントローラとして N8103-197 を搭載している場合は、5 章で入手した SAS コントローラ N8103-197 のドライバを適用方法に従い適用してください。

■ **本件に関するお問い合わせについて**

本書の内容に不明点がある場合は、下記ファーストコンタクトセンターまでお問い合わせください。

連絡先 : ファーストコンタクトセンター

T E L : 0120-5800-72 受付時間 : 9:00~12:00 13:00~17:00

月曜日~金曜日（祝日、弊社休日を除く）

※ 番号をお間違えにならないよう、よくお確かめのうえ、おかけください